



あけぼのぶんくん

No.50

2015年3月31日発行

主な内容

- 市町村活動支援事業から〈平成26年度実績特集 2〉
学校支援

〔目次〕

- 市町村活動支援事業から〈平成26年度実績特集 2〉
学校支援
 - 1 学校図書館運営相談事業 1
 - 2 学校ブックフェスティバル事業 3
 - 3 学校図書館サポートブックス事業 5
- 平成27年度市町村活動支援事業について 7

北海道立図書館

■市町村活動支援事業から <平成 26 年度実績特集 2>

1 学校図書館運営相談事業（14 町村）

管内	市町村名	内 容
空知	美唄市	除架とディスプレイの実習
後志	喜茂別町	使いやすい配架等に関する説明とワークショップ
胆振	厚真町	使いやすい配架等に関する説明とワークショップ
渡島	松前町	除架とディスプレイの実習
	八雲町	使いやすい配架に関する説明（1 校）、図書館担当者研修会での情報提供
	福島町	使いやすい配架等に関する説明とワークショップ
	知内町	除架とディスプレイの実習
檜山	厚沢部町	除架とディスプレイの実習
上川	富良野市	簡単な本の修理・フィルムかけ・POP づくり（1 校）、除架と蔵書管理に関する説明
	比布町	使いやすい配架等について説明
	東川町	使いやすい配架等に関する説明とワークショップ
留萌	留萌市	新校舎への移転準備のための除架作業等
宗谷	猿払村	除架とディスプレイに関する説明とワークショップ（1 校）、除架とディスプレイ実習（1 校）
林-ㇿ	雄武町	除架とディスプレイ（1 校）、見やすい棚づくり（1 校）
根室	根室市	除架とディスプレイの実習

● 留萌市（留萌小学校 平成 26 年 12 月 19 日）

留萌小学校は、平成 25 年度に留萌小学校と沖見小学校が統合して以来、旧沖見小学校の校舎を使用してきました。平成 26 年度に旧留萌小学校の校舎が改築され、移転するのを機に、学校図書館運営相談事業を利用しました。

事前連絡の中では、新しい学校図書館の図面を基に、書架の配置のしかたや移転までの段取り等について助言を行いました。

事業当日は、留萌小学校の先生方を始め、市内小・中学校の学校図書館担当の先生、学校図書ボランティア、市立留萌図書館の職員が参加して、内容が古い図書をより分けたり、統合前の 2 校で重複して所蔵していた資料を整理する作業を行いました。

新しい学校図書館への引っ越しは、年明けの 1 月 19 日、教員、ボランティア、図書館職員約 20 名で要領良く行われ、約 3 時間で終了したとの連絡をいただきました。

＜タイムテーブル＞

時 間	内 容
9:30	打合せ
10:00～10:40	説明「学校図書館の環境改善」※スライドを使って説明
10:40～16:00	除架作業 1 除架のしかたを書架の図書で具体的に説明する（15分） 2 グループ毎に除架→除架図書の箱詰め 3 配架修正（分類が混ざって並んでいるものを直す） 4 旧留萌小・旧沖見小の重複図書を整理する

● 雄武町（平成26年12月26日）

雄武町では、町内の各学校図書館の現状や悩みを把握し、最適な支援をしていくためのきっかけづくりのために申し込みました。

豊丘小学校、共栄小学校の2校において、学校図書館の環境整備のための教職員向けミニ講座と図書館改造の実践を行ないました。

両校とも、まずはミニ講座において、テキストを使って、除架・除籍の考え方やディスプレイのポイントについて説明し、その後、参加者全員で書棚から古い本を抜き取り、本を子どもたちが手に取りやすいように表紙を見せて並べるなどの改造をしました。

特に、豊丘小学校では分類が曖昧になっていることが課題でしたので、分類を意識した並べ替えをすることにより、書棚に分野ごとのまとまりができました。

また、共栄小学校では、学校図書館がオープンスペースになっています。オープンスペースの中でも子どもたちが頻繁に通る廊下を活用した新刊書の棚を工夫しました。



豊丘小学校



2 学校ブックフェスティバル（26市町村 42小学校 4中学校 1高等学校）

管内	実施数	管内	実施数
空知	4市町（4小学校）	石狩	—
後志	7市町村（8小学校、1中学校）	胆振	2町（3小学校）
日高	—	渡島	4町（8小学校、1中学校）
檜山	—	上川	5市町（13小学校、1中学校）
留萌	1町（2小学校、1中学校、1高等学校）	宗谷	—
林-ㇿ	1町（2小学校）	十勝	—
釧路	1町（1小学校）	根室	1市（1小学校）

- 東川町（平成26年9月11日）
実施校：東川町立東川第三小学校（児童数 25名）
東川町では、本事業を「親と子の移動朗読会」の第5回目として、東川第三小学校において実施しました。

当日は、8時30分から準備作業を開始しました。学校の担当の先生、教育委員会担当者、当館職員で打ち合わせをした後、本を床に広げたり、しかけ絵本などを設置していきます。準備作業の途中から、東川町で教育実習中の教育大学の学生も参加してくれました。

本の準備の後は、移動朗読会のリハーサルです。

朗読会では、絵本「空のみち」の著者で、木工クラフト作家である東川町在住の千葉章弘さんが、教育委員会の職員と一緒に絵本の朗読を行い、解説を行うという趣向です。

準備がすべて整い、3校時が始まると、児童が体育館に入ってきました。

オープニングでは、校長先生のお話、関係職員等の紹介の後、北海道の「朝読・家読運動」のイメージキャラクターのぶっくんがサプライズで登場し、子どもたちが喜んで迎えました。

朗読会では、「空のみち」を実物投影機を使って大型モニターに映し出して読み聞かせを行った後、千葉さんが、旭川空港の管制の様子を、黒板を滑走路に見立て、飛行機の模型を使って、わかりやすく解説しました。

朗読会の後は、いよいよ、本選びです。床に広げた600冊の本から一人5冊まで、借りたい本を選びます。本を借りた後は、しかけ絵本やおはなし迷路で遊んだほか、朗読会の間退場していたぶっくんが再び姿を現して、子どもたちは楽しい時間を過ごしました。

<タイムテーブル>

時間	内容
8:30~10:30	準備作業
10:35~10:40	オープニング
10:40~11:10	東川町移動朗読会
11:15~11:20	貸出方法の説明
11:20~12:10	本選び
12:10~12:15	閉会
12:15-13:10	撤収作業

- 津別町（平成26年6月26日）
実施校：津別町立活汲小学校、津別小学校（1～3年生のみ）（児童数 計68名）

当日は、9時から、教育委員会職員、先生方、当館職員など9人で会場準備を始めました。

体育館に敷いた大型ブルーシート2列に、約800冊の本を、表紙が見えるようにラウンドに並べ始めましたが、途中でスペースが不足したので、急遽、運動マットを足して場所をつくりました。

オープニングの後は、ボランティアによる紙芝居やおはなしを楽しみました。

おはなし会の後は、津別小学校の子どもたちも合流して本を選びました。

一冊一冊を手に取り、じっくりと選ぶ児童もいれば、借りる本をサッと決めてしかけ絵本を見に行く子もいます。そのまま直ぐ座り込んで読み始める子ども達もいました。

先生方にも、学級で使う本を貸し出しました。

普段はあまり本に触れない子どもにも、本に触れる良い機会になったようです。

このフェスティバルでの貸出冊数は、児童は一人5冊以内でしたが、総計で318冊でした。



3 学校図書館サポートボックス（12市町村）

学校の朝読や昼読、調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出すもので、学校図書館や学級文庫などで利用していただけます。

貸出期間は約半年（前期：5月～10月、後期：10月～3月）ですから、長期休業中の貸出し、複数の学校での巡回をさせるなど、いろいろな使い方ができます。

平成26年度は、次の4種類各3セットで、利用状況は次のとおりです。

セット名	実施市町村
理科読セット	名寄市・富良野市・東川町・喜茂別町・釧路町
朝読・昼読ボックス	倶知安町・赤井川村・斜里町・奈井江町・安平町・東川町
体力向上・スポーツボックス	新冠町・比布町・東川町・留寿都村・名寄市・釧路町

平成27年度は、「Hokkaido 愛食・食育ボックス」と「仕事ナビボックス」を新たに加えました。

また、「理科読セット」と「朝読・昼読ボックス」については、一部内容を更新しました。

セット名	内容	1セットの冊数(各3セット)
(1)理科読セット	<ul style="list-style-type: none"> 理科系の絵本や読みもの 小学校向き 	約230冊
(2)朝読・昼読ボックス	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野 小学校向き 	約150冊（低・中・高学年それぞれに約50冊） ※一部、重複する本があります。
(3)体力向上・スポーツボックス	<ul style="list-style-type: none"> 健康、スポーツなど、体力づくりに役立つ本 小・中学校向き 	約170冊
(4)Hokkaido 愛食・食育ボックス（新規）	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の産物や食生活への関心を高める本 小・中学校向き 	約160冊
(5)仕事ナビボックス（新規）	<ul style="list-style-type: none"> 職業や仕事に関する本 小学校中学年～中学校向き 	約60冊

申込み方法等については、「平成27年度市町村活動支援事業案内」に記載しています。

● 赤井川村（「朝読・昼読ブックス」前期）

「感想ノート」に、子どもたちの感想を書いてくれました。

『しごとば』をよんで

ぼくは、どのように仕事をしているのか、どのような仕事をしているのかが知りたくてこの本を見ました。
子どもが知らない現場が見られました。

『366日記念日事典』をよんで

自分の生まれた日は、なんの記念日かわかってよかったです。
あと、毎日がいろんな記念日だということは、知らなかったので、びっくりしました。
また、この本をよみたいです。

● 斜里町の展示例（「朝読・昼読ブックス」前期）



●平成27年度市町村活動支援事業について

事業区分		事業名	実施市町村数	備考	
Ⅰ	図書館活動支援	1 運営相談事業	20 市町村		
		2 重点運営支援事業	2 市町村	★	
		3 図書館行事支援事業			
		(1) 事業企画支援	3 市町村		
		(2) 出前講座（文学館連携事業）	3 市町村		
		4 支援貸出し事業			
		(1) 大量一括貸出し	40 市町村程度	※	
(2) 事業貸出し	随時受付	※			
Ⅱ	学校支援	5 学校図書館運営相談事業	15 市町村	★	
		6 学校ブックフェスティバル事業	15 市町村		
		7 学校図書館サポートブック事業	理科読セット	計 28 市町村	★
			朝読・昼読ボックス		★
			体力向上・スポーツボックス		★
			Hokkaido 愛食・食育ボックス		★
仕事ナビボックス	★				
Ⅲ	管内図書館振興団体支援	8 相互協力促進事業	14 地域	※	

- 「平成27年度市町村活動支援事業案内」は、各教育局を通じ、市町村教育委員会に通知しています。また、当館ホームページ内「図書館ポータル」の次の場所に掲載しています。
【掲載場所】
図書館ポータル → 情報共有ファイル → ファイル一覧 → 道立からのお知らせ → 平成27年度北海道立図書館市町村活動支援事業
- ★印は、追加募集をしています。（平成27年3月31日現在）
詳しくは、所管の教育局を通じて各市町村教育委員会あてお知らせしています。
- ※印は、随時申し込みをしていただけます。（「相互協力促進事業」は、11月29日または予定数に達した時点で締め切ります。）詳しくは、事業案内をご覧ください。

あけぼのつうしん No. 50

発行日 平成27年3月31日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>